

(別紙5)

整理番号 2021P-330
補助事業名 2021年度 緊急的な対応を必要とする事業
(新型コロナウイルス感染症の拡大防止策)補助事業
補助事業者名 社会福祉法人若草福祉会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

保育施設内における新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためには、施設内に入りする子ども・大人(保護者・職員)の健康観察を徹底し、発熱などの体調不良が見られる者は利用を控えてもらうなど、「施設内へなるべくウィルスを持ち込まないこと」が肝要である。

そのために、毎朝の健康観察、特に登園時に発熱していないかを園で確認する必要があるが、100名規模の認可保育園(認定こども園)にもなると、その検温作業自体が保護者・子どもが「密」になる空間を生んでしまうことにつながりかねない。また、通常の接触式体温計では、検温にかかる時間が長く、非接触式の体温計ではなかなか正確性が担保できないといった課題があった。

こうした現状に鑑み、本事業ではサーモカメラの導入により、正確で迅速かつ分かりやすい検温体制の構築を通じて、感染症リスクを抑えた安心安全な保育の継続的提供を目指すものである。

(2) 実施内容

主として朝の混雑が多い、幼児クラス(本園では年少・年中・年長が異年齢混合保育している)においてサーモカメラを設置し、登園時に児童自らが体温チェックしてから、保育を受け入れる体制をとるようにした。

<https://wakakusa-kodomoen.com/news/211201a/>

<https://wakakusa-kodomoen.com/struct/wp-content/uploads/jka2021.pdf>



サーモカメラで園児自ら検温する様子



都内と埼玉県内3つの園で活用している

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

体温チェックのスピードアップが図られたことで、以前よりも速やかに園児の受け入れが完了するようになり、送迎の保護者の滞留時間が大幅に短縮化した。これにより、園来訪の保護者による感染リスクが軽減したものと思われる。

また、子ども自らが簡単に体温チェックができるようになったことは、子どもたちなりに健康や感染対策への意識が生まれることにもつながり、今後の衛生指導や、感染症対策を子どもたちに伝えていくことにもつながっていくものと考えている。

3 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人若草福祉会
(シャカイフクシホウジンワカクサフクシカイ)

住 所： 〒367-0002
埼玉県本庄市仁手669-4

代 表 者： 理事長 福島 正晃 (フクシマ マサアキ)

担 当 部 署： 大久保わかくさ子ども園 (オオクボワカクサコドモエン)

担 当 者 名： 伊藤祐基 (イトウユウキ)

電 話 番 号： 03-6265-9990

F A X： 03-6265-9991

E-m a i l： yitoh@wakakusa-kodomoen.com

U R L： <https://wakakusa-hoikuen.net/>